

(様式4)  
令和7年4月30日

## 令和7年度 第1回 大阪市立塙本小学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立塙本小学校

校長名 森 政人

日 時	令和7年4月25日（金）19：00～	
場 所	塙本小学校 1階ミーティングルーム	
出席者	委員など	角本ひとみ（会長）川合昌壽（委員）中野昌樹（委員）間雅則（委員）檀原光博（委員）土井隆義（委員）佐々木健仁（委員）栗谷優子（委員）
	校園	森政人（校長）高原法子（教頭）今福雄介（教務主任）
	区役所	井畠怜央皆（生活支援担当課長代理）
議題	<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 学校協議会についての共通理解</li><li>(2) 選出役員の自己紹介</li><li>(3) 運営に関する計画について</li><li>(4) 学校の年間行事予定について</li></ul>	
協議要旨	協議の結果	
	(1)	○学校協議会の目的を確認。  ○区役所からの冊子を事前に配布し、確認いたしました。
	(2)	○選出役員の自己紹介  ○昨年度から入れ替わった方もいることから、自己紹介していただいた。
	(3)	○運営に関する計画について説明し、承認いただいた。  【安心安全な教育の推進】 ○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にするという目標だか、現状の数値からは難しいように思われる。具体的にどのようなことをしていく予定なのか? →日々の取り組みの中で、いじめやいじめに繋がることはないかを見ていく。また、学期に1回、いじめアンケートを行い、その結果を見て、児童への聞き取りから、個々の事象への解決をはかっていく。具体的な取り組みとしては、5月末に予定している「いじめについて考える日」に、児童朝会で校長先生から講話をを行い、それをきっかけに、各クラスでいじめを題材にした道徳の授業に取り組む。

○不登校、不登校気味な児童に対する学校の取り組みは？  
→ケースバイケースなので、こうしたら改善できるというものはない。まずは、学校に相談してほしい。人間関係に原因がある場合、人間関係の回復を最終目標にはできないが、距離をおくため席を離すなどの配慮をしていく。また、学校に来れても教室に入れない場合には、別の部屋で過ごせるようにしていく。スマホなどSNSへの依存が原因の場合は改善が難しいが家庭と連携して取り組んでいく。学校に来ることが難しい場合は、月1～2日来られるスクールカウンセラーによるカウンセリングにつないだり、区役所のSSW（スクールソーシャルワーカー）や子育て支援室、こども相談センターなどの外部機関につないでいく。不登校だと家に閉じこもることが多い。学校が無理でも、放課後デイなど外部機関に少しでも通うなど社会と繋がれるようにしていく。何が原因で不登校になっているのか分からぬケースも多いが、何がきっかけか分からぬが改善するケースもある。まずは学校に相談してほしいが、学校だけでなく、様々な機関に協力してもらい、改善に向け取り組んでいく。

#### 【未来を切り開く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を60%以上にするというのは、現状の数値からは難しいように思われる。この質問自体が児童には内容が難しく、捉え方も広すぎて答えにくいのではないか。  
→この質問は大阪市の教育振興計画に基づくもので、かえることはできない。そのため、経年調査の際に、担任から質問について具体的に説明した上で、アンケートに回答するよう、今年度していきたい。

○また、具体的に数値を上げるために、どんなことをしていくのか。

→3年間、国語を中心に研究を進めてきた。今年度から、国語を算数に切り替え、算数を中心に研究を進める中で、取り組んでいく。算数以外の教科においても、主体的対話的で深い学びになるよう、話し合う活動を授業に取り入れるように心がけていく。

		<p>○取組内容④で、理科室の備品を整備、充実させるとあるが、どういうことか。 →備品が今ないわけではないが、実験結果が正確に出るようなより良い実験道具をそろえることを計画している。また、今年度は理科補助員が1名配置されており、実験の準備をしたり、実験道具の整備を進めたり、より取り組みやすくなっている。</p> <p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>○ゆとりの日とあるが、ゆとりの対象は児童？教職員？ →教職員。ゆとりの日を設定する意味は、身体を休めるだけでなく、担任や専科の先生に授業について考える時間を与えるためとも言える。担任の仕事は大変で、1人25～26コマの授業を担当しているため、授業のアイデアを考え出す時間もない。人をもっと増やしてくれれば、1人20コマくらいになり解消するのだが、現実難しい。少しでも燃え尽きないように、余裕が持てるように、今年度もゆとりの日を設定し教職員の負担軽減をはかっていく。</p>
	(4)	<p>○学校の年間行事予定について、説明した。</p>
協議資料		<p>○学習参観、運動会、作品展など大きな行事を中心に説明した。 ○地域の行事予定も聞かせていただいている分はのせていることを伝えた。</p>
備考		<p>傍聴者[ 0 ]名</p>